歯磨きは大事

八街市立笹引小学校
三年　久保田　凌輔

ぼくは、毎朝、ごはんの後に歯みがきをする。一人でみがいた後、お母さんにみてもらう。お母さんに

「OK」

と言われたら終わりで、

「もうちょっと」

と、言われたらもうちょっとやる。ぼくは、

「がんばったのに・・・」

と思う。

五月十三日に学校で歯科検診があった。並んで待っている時、ぼくは、

「むし歯があるかな。」

と心配だった。すると、

「むし歯があるよ。」

と、歯医者さんに言われた。ぼくは、

「二年生のころまでなかったのに・・・。」

と、思った。ぼくは、三年生になってから、

「歯みがきがめんどうだな。」

と思うようになった。ぼくは、そのとき、

「歯みがきをしないとむし歯になるんだ。」

と思った。それからは、毎日ていねいにみがいている。

ぼくの歯がぐらぐらしているとお父さんが、さいほう用の糸をまきつけて、おもいっきりひっぱる。すると、歯がぽろんととれる。たまに失敗することもある。失敗すると血が、たくさん出てとってもいたい。そして、何日か後に挑戦する。とれた歯を屋根に投げた後

「もっとじょうぶな歯が、また生えますように。」と、おいのりをすると、いい歯が生えてきます。

これから、大人になったら元気な歯で、毎日の歯みがきをがんばってやっていきたいです。